

ピザとパスタ最強激突
マルゲリータ
VS
カルボナーラ

m

MONTHLY

November 2008

11

[マンスリー・エム]
定価530円

第1特集
世界を席巻する

日本人クリエイターの 発想と仕事力

いまや日本人のクリエイティブ力とクラフト力は世界中で認められている。
プロダクト・藤森泰司、ファッション・阿部潤一、建築・重松象平など
グローバルに活躍する若きサムライ37人！
彼らのユニークな発想とビジネスパワーの源泉を探った。



Special interview
福山雅治

brand recommended by m
ポール・スミスコレクション

第2特集 m流スタイル提案

ファッションは感動だ！

1. 「靴ありき」で世界は広がる
2. 掟破りの「鮮烈レイヤード」



伝統的な和傘は唐傘とも呼ばれる。製造元はいまや、京都や岐阜、金沢など、全国でも十数軒のみとなっている。

GO FOR IT!!
JAPANESE
CREATORS

CRAFT
& OTHER

06 西堀耕太郎

和傘職人
日吉屋

1974年和歌山県生まれ。和歌山県新宮市匠所職員を経て、2004年に妻の実家である和傘製造元「日吉屋」の5代目となる。和傘の構造を大胆に用いたライト「古都里」(KOTORI)を2006年に発表し、「Good Design賞」を受賞。

和傘の技術を応用したインテリアで、欧州市場を狙う男がいる。それが西堀耕太郎だ。芸舞妓文化や、伝統工芸が息づく京都においても、和傘を製造する店はたった1軒しかない。西堀はそんな1軒、「日吉屋」の5代目だ。

「婿養子で入った妻の実家が日吉屋でした。そのころ和傘は売れず、表裏両千家さんで使う野点傘で保っていました。そろそろ店をたたむ、という話になって。あえて火中の栗を拾うつもりで継ぐことを決意しました」

こうして5代目となった西堀は、和傘での海外進出を目指すことに。「和傘の構造の美しさは、海外でも通用するポテンシャルがありますが、そのままでは受け入れられない。そこで西欧でも使えるようにと考えた末、インテリアへの応用を選んだのです」

その第一弾として発表したのは、和傘の形をしたライトだったが、

発注がなく完全に失敗。しかし同時に出品していた、照明デザイナー・長根寛と共同で開発した円筒形状タイプが注目を集める。人間の運はどつちに転ぶかわからない。さらなる改良を加え、06年、和傘を筒状にしたライト「古都里」(KOTORI)を発表する。日傘に太陽の光が透過する美しさを表現したシールドは、傘のように折り畳め、海外への輸送コストを低減する効果も発揮する。国内ではすでに1300台を売り上げ、今年1月には海外進出の第一歩として、パリのメゾン・エ・オブジェ、フランクフルトのアンビエントといった世界的な見本市への出品を果たした。

「欧州の照明メーカーからの提携依頼や、日用品・インテリアメーカーからのオファーなど、反響は上々です。イサム・ノグチの「Akari」シリーズのような世界観を持つ商品に育てたいですね」

伝統と革新と情熱を武器に 欧州インテリア市場に殴り込む

CRAFT & OTHER



照明デザイナー・長根寛とブランドプロデューサー・島田昭彦とともに立ち上げた「KOTORI 古都里」プロジェクトのライト。写真の自立式スタンドの他に、ペンダントライト、フロアライトをラインナップ。¥19,950～ 問/日吉屋 TEL.075-441-6644



Qurz Inc.のプロダクトデザイナー・島村卓実、佐藤喜代松商店の佐藤貴彦、三木竹材店の3者が共同で発足させたブランド「sinaru」に依頼され、制作を請け負ったプロダクト「WAGASA」。和紙の代わりに多層PPフィルムという特殊素材を使用した画期的な和傘だ。¥30,450 問/日吉屋 TEL.075-441-6644

「和傘の伝統は革新の連続で作られました。僕がやる新たな試みも、いずれはその一部になるんです」

